

■グラバー=ツル イギリス人貿易商グラバーと公式に認可された日本初の国際結婚、「蝶々夫人」のモデル。

ぐらばあつる

・・・1848= 大坂松島で、造船業(淡路屋)談川安兵衛の長女に生まれる。母さとは一橋家武士の娘。

ペリー来航・1853= 5歳：

開国開港・・・1854= 6歳：この年、大坂湾にプチャーチン率いる軍艦ディアナ号が出現。

松下村塾・・・1856= 7歳：前年の安政大地震津波からの復興で繁盛する(淡路屋)に、豊後岡藩士山村国太郎が船の修理依頼に現れ、
蕃書調所・・・1857= 9歳：

桜田門外変・1860=12歳：この年、トーマス=グラバーが来日し、長崎に(グラバー商会)を設立。

両親が好感抱く国太郎と相思相愛となり、

生麦事件・・・1862=14歳：岡藩主の許可得た国太郎と結婚、竹田に住むが、家柄の違いになじめないなか、

8月18日政変 1863=15歳：娘センを生むも、岡藩が勤皇方についたことから、母の関係で幕府方に就かざるを得ない家の都合から

禁門の変・・・1864=16歳：離婚し、センを竹田に残し大坂に帰り、妹の面倒見ながら暮らすうち、

薩長同盟・・・1866=18歳：_ドックを造るため(淡路屋)に来た府知事五代友厚に紹介され、グラバーと会う。日本初の国際結婚認可、

大政奉還・・・1867=19歳：*長崎で貿易額トップとなったグラバーと再婚。両親とともに、長崎に移住し、私邸で生活。

明治維新・・・1868=20歳：娘ハナを出産。この年、父がグラバーのパートナーになるべく(淡路屋)の暖簾を畳み、長崎に来住。

初の日刊新聞1870=22歳：*(グラバー商会)が倒産。私邸・グラバー邸は無傷で残るも、夫は消沈、

廃藩置県・・・1871=23歳：長男富三郎を出産。

グラバーは、かつて支援した志士らが政府中枢を占めており、何とか地位を保つも、お飾り的になり、

初の民間工場1875=27歳：

三つの反乱・1876=28歳：この年、伊藤博文らの招きで上京。その後、長崎居留地の自治会長となる。

西南戦争・・・1877=29歳：父が死去。

大久保暗殺・1878=30歳：次男を出産するも、夭折したこともあってか、国太郎との娘センを呼ぼう思い、誘いの手紙をすると、

琉球処分・・・1879=31歳：この年、来日したグラント将軍は長崎に上陸し、グラバー邸に宿泊。

・・・1880=32歳：子供らとグラバー邸に移り、富三郎がカプリ英和学院に入学した年、竹田から歩き続けて現れたが、

明治14年政変1881=33歳：あまりの生活の違いと置いて来た祖母のことを思うセンは竹田に戻り、やがて音信も途絶える。
_実家の揚羽蝶の紋の代わりに、自ら創案してモンシロチョウの紋を使っていたことから、マダムバタフライと呼ばれるようになり、

秩父事件・・・1884=36歳：富三郎が淡路屋の姓名で学習院に編入学。この年、鹿鳴館がオープンし、グラバーは外人名誉書記。

帝国大学始・1886=38歳：この年、グラバーが、財界人らを株主に東京にビール会社を設立、取締役となる。

初の対等条約1888=40歳：富三郎がアメリカ留学。

帝国憲法発布1889=41歳：

足尾鉍毒始・1891=43歳：この年、グラバーがビール会社社長となる。_「蝶々夫人」作者に日本の話を吹き込んだとされるサラ=コレル
が夫の仕事で長崎に来る。

郡司千島探検1893=45歳：富三郎が帰国し、グラバー邸で同居。

日清戦争始・1894=46歳：国際結婚のため戸籍が無く、富三郎の就職に当って障害となることから、様々な工夫をして富三郎と戸籍登録
(のち富三郎が異腹とされる要因)。この年、グラバーがビール会社を退職。

白馬会・・・1896=48歳：ハナにも戸籍取得させ、

八幡製鉄始・1897=49歳：ハナがイギリス人と結婚。夫グラバーの勤務地仁川で生活後、ともに東京に転居。コレルが帰米。

Bushidou・・・1899=51歳：胃癌で、_没した。墓碑には「倉場富三郎母」と刻まれている。